

病院実習に臨む32人が宣誓式



ナイチンゲール像にともる火を自分のろうそくに移す学生＝平成淡路看護専門学校

南あわじ

平成淡路看護専門学校（南あわじ市広田広田）で11日、病院実習に臨む2年生

が決意を述べる宣誓式があった。患者にとって希望の明かりになれるよう、学生たちは思いを新たにした。

実習は、2年生にとって初めての本格的な臨地実習となり、17日から2週間、淡路島内の病院である。1人ずつ患者を担当し、会話をしたり、食事や睡眠の際に援助したりする。

宣誓式は毎年この時期に行われ、今年は9期生32人が白衣を着て参加した。

オルゴール曲が流れる厳

平成淡路看護専門学校

「患者にとって希望の明かりに」

かな雰囲気の中、学生はナイチンゲール像のろうそくから自らのろうそくに火を移した。舞台に整列し「地域医療の光となる看護師になる」「患者やその家族に笑顔で寄り添いたい」などとそれぞれ思いを述べた。

北河宏之学校長は「学生であっても、白衣を着ている限りは患者さんも頼りた存在になる。緊張感を持って、実習に取り組んでほしい」と式辞を述べた。

山本望愛さん（19）＝南あわじ市湊＝は「迷うこともあると思うが、担当する患者さんとコミュニケーションを取り、その人に合った看護ができるよう頑張りたい」と話した。

（劉 楓音）